



不幸も幸福にできる人を目指して

校長 田代 裕一郎



昨年度は、隣の熊本県を中心に大きな震災があり1年経ちました。神様は私たちに良いプレゼントばかりでなく時に最悪のプレゼントを与える時があります。災害に限らずそれは、家族の不治の病気だったり、交通事故だったり、友達同士のトラブルだったり、思わぬ不幸が訪れることがあります。毎日悩み一人では解決できそうもない試練と感ずることもあるかもしれません。しかし、その現状を打破するために、各自が解決に向けて努力し、家族が一つになり、皆が自立し、周囲からも責任ある仕事を任せられるなど、後から考えれば貴重な試練だったと振り返ることができる時があります。反対に宝くじが当たって、人生を台無しにしたという人もいます。フランスの哲学者モンテニューの言葉に「運命は我々に幸福も不幸も与えない。ただ、その種子を提供するだけで、我々の心がそれを不幸にも幸福にもする。」という言葉があります。人生は面白いものです。生徒の皆さん、是非、最悪のプレゼントも自分の成長の糧とすることのできるたくましい人になってください。また、自分の損得だけを考えず、他人を大切にできる心も持ってください。他人を思いやれる人は自分自身にも跳ね返って幸せになれると信じています。大金持ちが幸せとは限りません。皆さんは、思春期の特徴として保護者や友人など人間関係で悩むことも色々あるでしょう。ひとつずつ解決していく中で自信となり、常にたくましく、世のため人のために大いに活躍できる人になってほしいと願っています。

入学式

平成29年度の入学式が4月7日(金)、本校体育館で行われました。桜のつばみがふくらみ、新しい命が萌える中、359名の生徒が入学を許可されました。

新入生を代表し、1年8組の三村満咲さんが、校訓を胸に歴史と伝統を継承し、鹿工の新たな歴史を創造していく決意を力強く宣誓しました。これからの3年間で多くの事にチャレンジし、実りある学校生活を送ってくれることを願っています。

式の最後には、生徒会有志によるエールと毎年恒例の寮生による校歌披露も行われ、新しい仲間を迎える素晴らしい日となりました。



学校長式辞



新入生代表宣誓



生徒有志によるエール



寮生による校歌紹介

歓迎の言葉



生徒会長 建築系3年 上水流 智保(吹上中)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。3月に卒業生を送り出してから、鹿児島工業高校の新たな一員として皆さんが入学してくるのをとても楽しみにしていました。

鹿児島工業高校は創立109周年の素晴らしい歴史があり沢山の方々から信頼されている学校です。生徒一人一人が「文武両道」を目標に資格取得や部活動に励み、大運動会、クラスマッチ、鹿工祭などの行事にも全力で取り組んでいます。そんな鹿工で過ごす3年間はきっと充実したものになっていきます。学校生活の中で夢や目標を見つけ、沢山の努力をして自分の未来を切り開いていってください。

そして、分からないことや不安なことがあれば、気軽に先輩や私たち生徒会に声をかけてください。きっと力になれると思います。平成29年度が素晴らしいものとなるよう、皆で盛り上げていきましょう。

鹿児島工業に入学して



Ⅱ類 1年8組 三村 満咲(伊敷台中)

鹿児島工業高校に入学して、最初は不安ばかりでした。しかし、クラスの間々と会話を重ねていくうちに学校に少しずつ慣れてきました。また、先生方や先輩方が優しく接してくださるので、不安もなくなっていきました。

これから、勉強と部活動の文武両道を目標に資格取得にも励んでいきたいと思っています。そして、毎日が充実した楽しい高校生活になるよう頑張っていきたいと思っています。

対面式

4月10日(月)に、本校体育館にて対面式が行われました。

1年生は上級生との初めての顔合わせで、かなり緊張した様子での対面式となりました。学級ごとに起立し、学級担任とともに1, 2年生は紹介され、3年生は自分たちで学級紹介を行いました。生徒会長の上水流智保さんが1年生に向け歓迎の言葉を述べ、それに対して新入生代表の1年2組杉崎晴人さん(鹿屋東中)が鹿工生としての決意を堂々と語ってくれました。その後、3年生代表から1年生代表へ生徒手帳が手渡されました。全校一丸となり、日本一の工業高校を目指して共に頑張っていきましょう。



部活動紹介

4月10日(月)の5・6校時に本校体育館で部活動紹介がありました。例年、各部の工夫を凝らした紹介は、新入生に鹿工生の仲間入りをしたという実感を強

く印象づけています。多くの新入生が部活動に入部して、学業以外の場でも多くのことを学んでくれることを期待しています。



剣道部



アーチェリー部



バドミントン部



吹奏楽部

社会において自分自身を財産として生きていくために

生徒指導部 堀口 晃

平成29年度がスタートし、2年生、3年生にそれぞれが進級して新たに新入生も加わり、全校生徒1,068人で鹿工の新しいページがめくられました。

これからの1年間を航海でたとえると、船は港を出てエンジンの回転数も上がり、まさに大海原へ出たところだと思っています。これから色々な天候や波があると思いますが、鹿工生全員が、この航海で大きく成長し、来年3月、無事に目的地に到着するために、以下の3点を再度心に留めてこれから生活してください。



1 「何のために」を考えて行動する

頭髮服装指導を含め校則は何のため、また今行っている学習や練習は何のため等、目的や必要性をしっかりと理解して行動する。目的をはっきり理解して行動することによって、やる気がわき、集中力や忍耐力が養われ成果も出ます。

県内外の企業から非常に多くの求人票をいただくことができ、鹿工生が必要とされているのも理由があるのです。

2 「凡事徹底」

当たり前のことを誰にも負けないくらい一所懸命やり続けるという意味です。

鹿工生としてのプライドをもって、どこの学校にも負けない行動をすることで、君たちの価値を益々高いものにしましょう。「いいかげんなことをしない」

誰に対してもきちんとした挨拶、門礼、話を聞く姿勢、掃除等はしっかりとできていますか。「まあ いいか」で生まれる紙一重の恐ろしさを忘れないこと。

3 「精 進」

校訓の最初に掲げられているとおり、日々向上を目指して努力する、何事にも集中して取り組むという意味です。この基本である「精進」という名称で生徒指導部便りを発行しますので、よく読んで理解して実行してください。人は、「インプット」ではなく「アウトプット」で成長します。自分の価値を高めるために、必ず実行してください。気持ちを込めて作成します。

君たちは、県内のみならず日本の工業界、しいては社会のリーダーになるために鹿工で学んでいるのです。また、高い倍率の高校入試を勝ち抜き、選ばれた人材です。そんな高校生活も3年間しかありません。卒業してからが本番、何十年と長く続きます。

この鹿工での貴重な3年間で有意義なものにし、色々なことに挑戦して大きく成長した姿で卒業式を迎え、校歌を熱唱してください。自分自身を財産として、社会で活躍できる人材になるために。

自転車盗難防止モデル校指定

今年度本校は、鹿児島西警察署から、自転車盗難防止モデル校として指定を受けました。生徒の皆さん、自転車の施錠はもとより交通安全にも十分気を付けていきましょう。



指 定 書

鹿児島県立
鹿児島工業高等学校 殿

貴校を

平成29年4月10日から
平成30年3月31日まで
自転車盗難防止モデル校
に指定します

平成29年4月10日

鹿児島西警察署長

警視正 山下 澄人

自転車盗難防止宣言

私たちは、鹿児島工業高等学校の生徒であることの自覚と誇りをもち、また、自転車盗難防止モデル校であることを常に意識し、一人一人が自転車盗難を防止することの意識を高めるため、次のことを宣言し、実践します。

- 一つ 自転車には防犯登録をします。
 - 一つ 駐輪するときは必ず施錠します。
 - 一つ 路上、空き地への駐輪はせず、駐輪場に駐輪します。
 - 一つ 自転車は大切に扱い、駐輪するときは整然と駐輪します。
- 以上 宣言します。

平成29年4月10日

鹿児島工業高等学校 生徒一同